

平成28年度決算に係る

定期監査調書

平成29年7月

中小家畜試験場

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況	2頁
3	組織及び業務調べ	2頁
4	職員の定員、現員調べ	2頁
5	役付職員の調べ	2頁
6	主な事業に関する調べ	3～5頁
7	収入証紙取扱額調べ	6頁
8	収入事務処理状況調べ	6～7頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	7頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	7頁
11	不納欠損額調べ	7頁
12	負担金、交付金及び委託料支出状況調べ	7～8頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	9頁
14	財産に関する調べ	9～14頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	15頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	15頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	16頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車(二輪を除く)の管理状況調べ	17頁
19	寄附物件の受納状況調べ	17頁
20	備品の処分状況調べ	17～18頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	18頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
22	職員旅費の執行状況調べ	19頁
	(1) 旅行何の事前承認	
	(2) 旅費概算払の精算等	
	(3) 旅費の計算	
	(4) 旅費の適正執行の取組状況等	
23	事業別予算執行状況調べ	20～21頁
24	農業機械の管理状況	22頁
25	生産物(品)に関する調べ	23頁
26	試験研究調査事業別実施状況調べ	24～29頁
○	意見・要望等	29頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項 該当なし

(2) 監査意見

監 査 意 見	処 理 状 況 等
<p>試験研究機関の試験研究内容の積極的な公開について</p> <p>県の試験研究機関では毎年多くのテーマで日々試験研究がなされており、近年では付加価値の高い新品種の育成などの成果が上がっている。農林水産分野では、米の食味ランキング特Aの「きぬむすめ」、梨の「新甘泉」、種雄牛の「白鷗85の3」、花粉の少ない杉、マサバの陸上養殖など新たな品種改良や生産技術の開発改良の取組みが全国から高い評価を受けている。</p> <p>これらの成果は、長年にわたる試験研究のたゆまぬ努力によって得られたものであり、ホームページや公開セミナーなどでも紹介されているが、一般県民にとっては専門的で分かりづらい面もある。</p> <p>県民に対して試験研究内容や開発の現場を公開する際には、試験研究の成果を触覚や視覚に訴えたり、生製品の試食ができるイベントなどで紹介し、さらには開発のきっかけや試験研究経過を説明するなど県民が興味を持ち、試験研究の現場を身近に感じられる取組みも必要と考える。また、県内の小・中・高・大学生等に社会見学や体験学習の場として活用してもらうことにより、ふるさとへの誇りや愛着を育むことや将来の後継者としての意識付けにも繋がること大いに期待できる。さらに、とっとり県民カレッジの講座として登録することで、一般県民の幅広い層に広く研究開発の状況を学んでもらう機会となる。</p> <p>については、公民館単位や学校単位での見学ツアー、研究成果発表会、試験研究出前説明会、PRイベントなどの開催を通じ、試験研究の内容や成果への理解を深められるよう工夫するとともに、教育委員会等とも連携しながら、より積極的かつ効率的な公開方法を検討されたい。</p>	<p>1 取り組みの経過</p> <p>試験研究内容、成果の一般県民への公開は、これまでも研究機関の重要な役割と認識しており、取り組みを進めてきたところである。</p> <p>【主な取り組み事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験場を会場とした公開セミナー、試験場公開、体験学習等や学校・地域等での出前授業・講座等の実施。 ・HP等により研究内容・成果、最新技術やイベント情報等を公開。 ・教育委員会との連携。 <p>(例：「森林・林業・木材セミナー」を県民カレッジに登録)</p> <p>2 取り組み強化に向けた今後の考え方</p> <p>研究内容に関してより興味が深まるよう、分かりやすく五感に訴えた積極的な情報公開に努めることを「試験場統括本部会議」で再確認し、以下のとおり取り組むこととした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナーやイベント等をより体験型になるよう工夫、充実する。 ・HPは適宜、情報更新を行い、できる限り専門用語にとらわれない県民目線に立った分かりやすい情報発信に努める。 ・教育委員会との連携を心がけ、これまで漏れていた公開セミナー等も県民カレッジへの事前登録を進める。 <p>(試験研究機関共通)</p> <p>中小家畜試験場の個別対応状況</p> <p>東アジア等での家畜伝染病の発生が繰り返されており、また、車両消毒、防疫服の着用などの防疫対策によって感染リスクは軽減できてもゼロにはならないことから、試験場を開放しての見学会、公開セミナーの実施は実質困難である。ただし、事前に連絡をいただける場合は、海外渡航歴、畜産農家との接触がないこと、家庭で鳥類(鶏など)を飼育していないことなど確認のうえ、県内外からの視察等に対応している。</p>

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況 該当なし

3 組織及び業務調べ

課名	係(室)名	課の主な所掌事務
中小家畜試験場	総務担当	庶務に関すること。
	養豚研究室	(1)畜産経営技術の改善に関すること。 (2)豚の改良繁殖、管理、飼育方法、育成、肥育及び飼料に関すること。 (3)豚の人工授精及び生物工学に関すること。 (4)家畜の経済能力検定に関すること。 (5)その他畜産振興に関すること。
	環境・養鶏研究室	(1)畜産経営技術の改善に関すること。 (2)鶏の改良繁殖、管理、飼育方法、育成、肥育及び飼料に関すること。 (3)家畜に係る環境の改善に関すること。 (4)種鶏の種卵及び地どりのひな配布に関すること。

4 職員の定員、現員調べ

(平成29年4月1日現在)

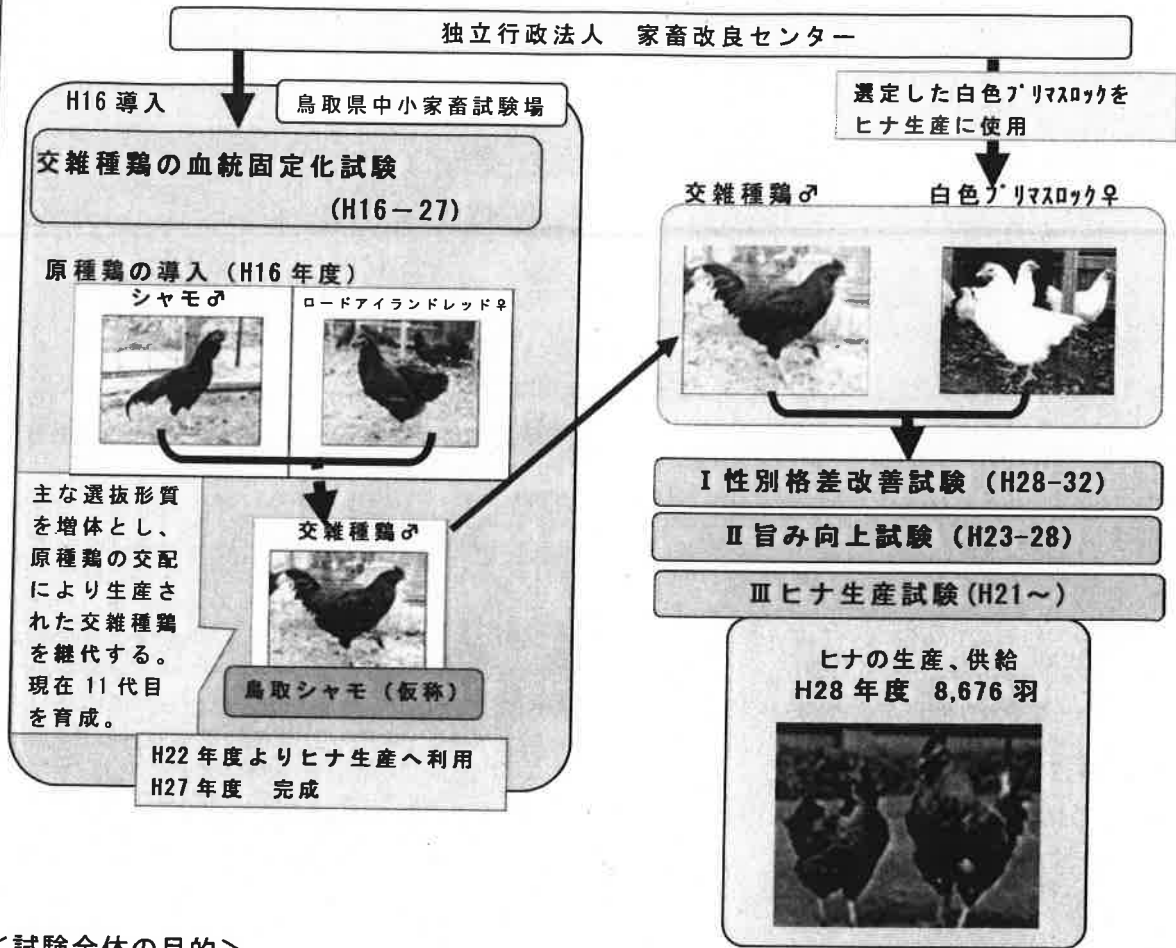
種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	当該年度	28.4.1現在	当該年度	28.4.1現在	当該年度	28.4.1現在	当該年度	28.4.1現在	
定員	1	0	10	10	3	4	14	14	
現員	() 1	()	() 9	() 10	() 3	() 4	() 13	() 14	
過不足(Δ)	0	0	Δ 1	0	0	0	Δ 1	0	欠員
臨時職員							0	0	
非常勤職員	1	1			7	6	8	7	現業技術員1 畜産技術員6 事務1

5 役付職員の調べ

(平成29年7月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
場長	津森 宏	1	3	
課長補佐(総務担当)	勝部 純基	0	3	出納員
養豚研究室長	小峯 公範	0	3	
環境・養鶏研究室長	福間 規夫	0	3	継続勤務 6年3月

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	財産収入	一般財源
「鳥取地どりピヨ」の改良試験	8,871千円		1,010千円	7,861千円
将来ビジョン	1 ひらく I 地域で・県外で・国外で新時代に向かって扉をひらく。			
政策項目	市場にうって出る魅力あるオリジナル品種、高付加価値技術の開発			



<試験全体の目的>

「鳥取地どりピヨ」の元となる種鶏は、全て県外導入に依存して、生産性や品質の安定性等に問題が残っていたため、鳥取県独自の地どり種鶏群（雄系）への改良を図る。あわせて、「鳥取地どりピヨ」の差別化を図るため、旨みを開発する旨み（アラキドン酸）向上試験を行った。

また、民間の旧山陰食鶏農協の地どり生産休止に伴い、地どりのヒナ生産、出荷も休止され、当場がヒナ生産を緊急的に開始した。

I 「鳥取地どりピヨ」の性別体重格差改善を目指した種鶏改良 (H28-32)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

「鳥取地どりピヨ」は流通業者や飲食店で雌が好ましいという声があり、生産者からは雌の出荷体重の増加に対する要望がある。そこで、ピヨの雌の増体量向上を目指した GSR の改良を行う。

(イ) 事業の実施状況

育成、選抜、交配を従前方法に改善を加え実施した。

イ 平成28年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点
前世代の鶏群において次世代の交配組合せを決定するため、98日齢体重とモモ肉重量、産卵率、卵重の育種価を調査し、線形計画法により、雌の増体により重みづけをした交配組合せを決定した

ウ 成 果

前世代鶏に比較して98日齢体重が雄で203g増加、雌で150g増加した。また、今世代鶏（12世代）の98日齢体重の変動係数は前世代鶏（11世代）と同程度に抑えられ、雄で8%、雌で7%であった。

エ 課 題

雌体重は増加したが、雄体重もそれをさらに上回る体重の増加が見られ、結果的に性別格差は増大した。交配計画の見直しを早急に行い、次世代生産で補正をかけていくこととする。

II 「鳥取地どりピヨ」の旨み（アラキドン酸）向上試験（H23-H28）

ア 目的及び事業の実施状況

（ア）目的

脂肪酸の一種であるアラキドン酸が旨みに関係することが分かってきた。そこで、育種により筋肉中のアラキドン酸を向上させ、地どり肉のさらなる差別化を図るために、旨み開発を行う。

（イ）事業の実施状況

ブロイラー雌 35羽及び「鳥取地どりピヨ」100羽を餌付けし、ブロイラーは53日齢で精肉調査を行い、「鳥取地どりピヨ」については84日齢よりアラキドン酸の前駆物質であるγリノレン酸を飼料添加し、精肉調査を101日齢に行った。油脂添加がモモ肉脂肪酸組成に与える影響を調査した。

イ 平成28年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

油脂添加試験においてγリノレン酸の添加割合を0.5%に変更して試験を行った。

ウ 成 果

γリノレン酸の割合に応じて、モモ肉中のγリノレン酸含有率も増加した。また、アラキドン酸についても無添加区に比べ0.5%区で1.5倍に増加した。

エ 課 題

分析値バラツキが多く、正確な差異を判定するには脂肪酸分析の個体数を増加させる必要がある。

III 「鳥取地どりピヨ」のヒナ生産試験（H21-）

ア 目的及び事業の実施状況

（ア）目的

当試験場で「鳥取地どりピヨ」のヒナを生産し、農家へ供給することにより、安定的な農家経営を支援する。

（イ）事業の実施状況

ヒナ出荷に向けて計画的に集卵、貯卵を行い、定期的なふ卵、孵化作業を行った。

イ 平成28年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

防疫対策を一層強化し、家畜伝染病の発生防止に努めた。また場内職員で発生時に備えた防疫演習を行った。

ウ 成 果

供給実績羽数は昨年度より微増するとともに、生産者の要望には100%応えることができた。（H28年度配布羽数：8,676羽 H27年度：8,599羽）

エ 課 題

試験場の生産能力にも限界があることや労力の増大で試験研究の実施にも影響があることから早期にヒナ生産の民間への移行を検討が急がれる。

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
鳥取県産ブランド豚品質向上試験	10,317		3,425	6,892
将来ビジョン	1 ひらく I 地域で・県外で・国外で新時代に向かって開く扉をひらく			
政策項目	市場に売って出る魅力あるオリジナル品種、高付加価値化技術の開発			

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

平成 25 年度に肉質の優れた鳥取県産パークシャー種(黒豚)の系統が完成し、先に系統造成を完成した筋肉内脂肪含量が高い産肉能力を持つ「大山赤ぶた(デュロック種)」にパークシャー種を交配した高品質でオリジナル性の高い「大山ルビー」の生産体制が整った。

平成 27 年度に「大山ルビー」への鳥取県産高オレイン酸含有ひまわりの搾油粕及びひまわり種子添加試験を行い、平成 28 年度は、ひまわり種子の添加割合の異なる飼料を給与し、ブランドカのさらなる向上へアピールポイントの提示を試みる。

また、パークシャー種雄の直接検定試験を実施し、養豚農家で交配に使用する豚の譲渡体制を整える。

(イ) 事業の実施状況

1) 大山ルビーへのひまわり種子添加試験

鳥取県産高オレイン酸含有ひまわり種子を市販飼料に 3%、5% (重量比) 添加した肥育試験及び 5% 添加した農家実証試験を行った。調査項目は発育成績の調査および肉質分析等とした。

また、肉質劣化抑制効果の認められたひまわり種子の添加効果についてさらに調査を実施した。

2) パークシャー種雄の直接検定試験

養豚農家で交配用に使用するパークシャー種雄の譲渡を行うため、90kg 到達時に体格測定を行い、種畜性の高い雄豚の選抜を実施した

イ 平成 28 年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

1) 大山ルビーへのひまわり種子添加試験

ひまわりの搾油粕およびひまわり種子 3% 給与試験では、肥育成績等への影響が認められなかったため、給与期間の延長および 5% 添加給与として実証試験を実施した。

2) パークシャー種雄の直接検定試験

養豚農家の希望する成績を示す個体を選抜するよう努めた。

ウ 成果

1) 大山ルビーへのひまわり種子添加試験

前年度試験において、ひまわり種子添加区は対照区と比較してドリップロスおよび肉色の経時的な変化の抑制が認められたが、5% 添加給与及び農家実証試験においては、肥育成績、枝肉成績、肉質の有意差を認めるには至らなかった。

2) パークシャー種雄の直接検定試験

パークシャー種雄の体格調査を行い、そのデータを参考に、養豚農家の希望に沿う譲渡体制を整えた。

エ 課題

県内で生産されるひまわり油の搾り粕残渣利用を目的としているため、ひまわりの栽培定着と未利用資源である搾油粕の安定的な入手が必須である。

7 収入証紙取扱額調べ

該当なし

8 収入事務処理状況調べ
(1) 分担金及び負担金

該当なし

(2) 使用料

(平成29年5月31日現在)
(単位:円)

収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	細節							
行政財産 使用料	電力	1	1,870	1,870	0	0	鳥取県行政財産使用料条例	
	電気通信	1	720	720	0	0	鳥取県行政財産使用料条例	
	計(節)	2	2,590	2,590	0	0		
目計		2	2,590	2,590	0	0		
合計		2	2,590	2,590	0	0		

(3) 手数料

該当なし

(4) 財産収入

(平成29年5月31日現在)
(単位:円)

収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	細節							
財産貸付 収入	地震計	1	100	100	0	0	公有財産事務取扱要領	
	巢箱	1	100	100	0	0	公有財産事務取扱要領	
	計(節)	2	200	200	0	0		
目計		2	200	200	0	0		
生産物売払 収入	精液	132	1,455,840	1,455,840	0	0	生産品事務取扱要領	
	豚売払	155	13,303,271	13,303,271	0	0	生産品事務取扱要領	
	ヒナ	21	1,009,638	1,009,638	0	0	生産品事務取扱要領	
	計(節)	308	15,768,749	15,768,749	0	0		
目計		308	15,768,749	15,768,749	0	0		
家畜類売払 収入	豚売払	22	615,510	615,510	0	0	生産品事務取扱要領	
	計(節)	22	615,510	615,510	0	0		
目計		22	615,510	615,510	0	0		
合計		332	16,384,459	16,384,459	0	0		

(5) 諸収入

(平成29年5月31日現在)

収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
目	節							
雑収入	雑収入	1	1,690	1,690	0	0	公有財産事務取扱要領	
		1	7,500	7,500	0	0		
		1	43,598	43,598	0	0		
	計(節)	3	52,788	52,788	0	0		
	目計	3	52,788	52,788	0	0		
	合計	3	52,788	52,788	0	0		

(6) 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況

イ つり銭の状況

9 収入未済額調べ

10 未収金回収促進のための取組状況調べ

11 不納欠損額調べ

12 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(2) 補助金

(3) 交付金

該当なし

該当なし

該当なし

該当なし

該当なし

該当なし

該当なし

該当なし

(4)委託料

(平成29年5月31日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	国 単 県 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			人札等 年月日 (契約保証金 納付等年月 日)	完了		支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約期間		年月日	年月日	支出 区分	支出 年月日	金額	
中小家畜試験場費	単県	ダイオキシン類濃度 測定分析業務	(社)鳥取県保 健事業団	861,840	(H26.3.14) 861,840	H26.4.1 ~ H29.3.31	H26.2.20 (免除)	H28.12.22	精算	H29.1.11	287,280	ID:14-00175008 H26~H29 債務負担行為 年額 287,280	
中小家畜試験場費	単県	機械整備委託	大同警備保障 (有)	1,030,320	(H26.3.31) 1,030,320	H26.4.1 ~ H29.3.31	H26.2.20 (免除)	H28.4.30他	精算	H28.5.9他	343,440	ID:14-00174838 H26~H29 債務負担行為 年額 343,440	
中小家畜試験場費	単県	焼却炉保守点検	インシナー商事 (株)	367,200	(H28.4.28) 367,200	H28.4.28 ~ H29.3.31	2016/4/18 (免除)	H28.4.30他	精算	H28.6.24	367,200	文書ID: 16-00012148	
中小家畜試験場費	単県	網屋分場除草業務 (1回目)	(有)本田工務 店	324,000	(H28.7.12) 324,000	H28.7.12 ~ H28.8.31	2016/7/8 (免除)	H28.8.23	精算	H28.9.2	324,000	文書ID: 16-00054371	
中小家畜試験場費	単県	網屋分場除草業務 (2回目)	環境緑地(株)	321,840	(H28.10.3) 321,840	H28.10.5 ~ H28.11.11	2016/10/3 (免除)	H28.10.31	精算	H28.11.9	321,840	文書ID: 16-00091676	
中小家畜試験場費	単県	堆肥攪拌機修繕業務 委託	(株)西沢製作 所	3,326,508	(H28.5.24) 3,326,508	H28.5.24 ~ H28.9.30	2016/5/11 (免除)	H28.8.29	精算	H28.9.16	3,326,508	文書ID: 16-00024069	
中小家畜試験場費	単県	イオンクロマトグラフ 保守点検業務委託	鳥取科学器械 (株)	856,548	(H28.4.1) 856,548	H28.4.1 ~ H29.3.31	2016/3/25 (免除)	H29.3.10	精算	H29.4.18	856,548	文書ID: 15-00179447	
中小家畜試験場費	単県	汚泥脱水機保守業務 委託	中国共和メンテ ナンス(株)	213,840	(H28.10.17) 213,840	H28.10.18 ~ H29.1.31	2016/10/17 (免除)	H28.11.30	精算	H28.12.21	213,840	文書ID: 16-00098050	
中小家畜試験場費	単県	解卵器保守点検業務	(株)昭和フラン キ	591,516	(H28.4.25) 591,516	H28.4.25 ~ H29.3.31	2016/4/15 (免除)	H28.9.15	精算	H28.10.17	591,516	文書ID: 16-00010638	
中小家畜試験場費	単県	汚水処理施設修繕業 務委託	(株)戸上電機 製作所	2,757,456	(H28.5.16) 2,757,456	H28.5.16 ~ H28.8.31	2016/5/9 (免除)	H28.8.29	精算	H28.9.13	2,757,456	文書ID: 16-00021785	
中小家畜試験場費	単県	汚水処理設備保守業 務	(株)戸上電機 製作所	276,264	(H28.10.3) 276,264	H28.10.3 ~ H28.12.28	2016/9/27 (免除)	H28.11.30	精算	H29.1.4	276,264	文書ID: 16-00088473	
予定価格が20万円 未満のもの													
目計											1,159,339		
合計											10,825,231		

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)		
														増加
行政財産	土場	南部町北方	156.90	30,250,000	増加	H						156.90	30,250,000	
	解剖舎	南部町北方	20.00	1,623,000	増加	H						20.00	1,623,000	
	現場管理舎	南部町北方	70.00	4,888,000	増加	H						70.00	4,888,000	
	わら収納舎	南部町北方	50.00	2,142,000	増加	H						50.00	2,142,000	
	堆肥舎	南部町北方	102.00	3,717,000	増加	H						102.00	3,717,000	
	飼料庫	南部町北方	126.14	7,628,000	増加	H						126.14	7,628,000	
	本館車庫	南部町北方	35.75	1,452,000	増加	H						35.75	1,452,000	
	総合実験鶏舎	南部町北方	612.00	139,331,109	増加	H						612.00	139,331,109	
	育成試験舎	南部町北方	396.00	24,925,972	増加	H						396.00	24,925,972	
	衛生舎	南部町北方	24.00	2,988,903	増加	H						24.00	2,988,903	
	種鶏舎	南部町北方	209.00	16,618,573	増加	H						209.00	16,618,573	
	器具庫・車庫	南部町北方	100.00	9,986,732	増加	H						100.00	9,986,732	
	鶏糞乾燥場	南部町北方	107.00	7,027,299	増加	H						107.00	7,027,299	
	鶏糞乾燥場 ボイラ一室	南部町北方	10.51	647,177	増加	H						10.51	647,177	

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況							本年度末		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)			
													増加		減少
行政 財産	給餌場	南部町北方	32.94	2,522,532	増加	H						32.94	2,522,532		
	自転車置場	南部町北方	5.60	627,014	増加	H						5.60	627,014		
	同上採糞場	南部町北方	9.00	0	増加	H						9.00	0		
	第2分挽豚舎	南部町北方	250.33	32,197,800	増加	H						250.33	32,197,800		
	堆肥化处理施設	南部町北方	414.80	0	増加	H						414.80	0		
	第1分挽豚舎 採糞場	南部町北方	9.00		増加	H						9.00			
	繁殖豚舎採糞場	南部町北方	23.75	83,366,850	増加	H						23.75	83,366,850		
	選抜検定豚舎	南部町北方	681.00	20,818,500	増加	H						681.00	20,818,500		
	バイテク棟	南部町北方	150.00	14,790,765	増加	H						150.00	14,790,765		
	離乳豚舎採糞場	南部町北方	9.00	887,446	増加	H						9.00	887,446		
	種豚豚舎採糞場	南部町北方	9.00	887,446	増加	H						9.00	887,446		
	肉豚試験採糞場	南部町北方	9.00	887,446	増加	H						9.00	887,446		
					減少	H									

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況							本年度末		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)			
													増加		減少
行政財産	新種鶏舎1	南部町北方	115.50	15,747,375	増加	H						H	115.50	15,747,375	
	新種鶏舎2	南部町北方	115.50	15,747,375	減少	H						H	115.50	15,747,375	
	送水施設 (ポンプ小屋)	南部町原	6.73	4,235,700	増加	H						H	6.73	4,235,700	
	繁殖豚舎	南部町北方	306.85	16,450,000	増加	H						H	306.85	16,450,000	
	第1分娩豚舎	南部町北方	226.40	13,251,000	減少	H						H	226.40	13,251,000	
	離乳豚舎	南部町北方	207.36	15,504,000	増加	H						H	207.36	15,504,000	
	種雌豚舎	南部町北方	273.06	18,746,000	減少	H						H	273.06	18,746,000	
	肉豚試験舎	南部町北方	132.00	10,686,000	増加	H						H	132.00	10,686,000	
	尿汚水処理施設	南部町北方	116.48	43,155,000	減少	H						H	116.48	43,155,000	
	北方本場小計		6,005.76	671,641,438			0.00		0				6,005.76	671,641,438	
	管理室	南部町絹屋	67.72	1,762,000	増加	H						H	67.72	1,762,000	
	実験室	南部町絹屋	59.80	18,849,000	減少	H						H	59.80	18,849,000	
	絹屋小計		127.52	20,611,000			0.00		0				127.52	20,611,000	
	計		6,133.28	692,252,438			0.00		0				6,133.28	692,252,438	

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	本年度異動状況										備考		
			前年度末		異動日	面積(㎡)	価額(円)	増減理由	登記年月日	本年度末					
			面積(㎡)	価額(円)						増減別	面積(㎡)	価額(円)			
	分娩豚舎	南部町絹屋	184.00	3,255,000	H				H	184.00				3,255,000	
	育成豚舎	南部町絹屋	192.00	2,884,000	H				H	192.00				2,884,000	
	種豚豚舎	南部町絹屋	63.75	844,500	H				H	63.75				844,500	
	母豚群飼豚舎	南部町絹屋	201.87	1,959,500	H				H	201.87				1,959,500	
	飼料庫	南部町絹屋	48.60	491,500	H				H	48.60				491,500	
	農機具格納庫	南部町絹屋	68.00	738,500	H				H	68.00				738,500	
	便所	南部町絹屋	4.97	198,000	H				H	4.97				198,000	
	種雄豚舎	南部町絹屋	259.20	16,991,000	H				H	259.20				16,991,000	
	検定豚舎	南部町絹屋	216.00	14,159,000	H				H	216.00				14,159,000	
	育成選抜豚舎	南部町絹屋	522.00	39,280,000	H				H	522.00				39,280,000	
	分娩豚舎	南部町絹屋	231.00	17,122,000	H				H	231.00				17,122,000	
	種雌豚舎	南部町絹屋	238.60	13,484,898	H				H	238.60				13,484,898	
	糞尿処理施設	南部町絹屋	270.00	15,965,000	H				H	270.00				15,965,000	
	肥育豚舎	南部町絹屋	230.00	28,634,000	H				H	230.00				28,634,000	
	計		2,729.99	156,006,898			0.00	0		2,729.99				156,006,898	
	合計		8,863.27	848,259,336			0.00	0		8,863.27				848,259,336	

ウ 山林 該当なし

エ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) 該当なし

オ 物権 該当なし

カ 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案権等)

(ア) 異動状況 該当なし

(イ) 出願及び登録の状況 該当なし

(ウ) 活用の状況 該当なし

キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成29年5月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購入額	使用額		
	円	円	円	円	
郵便切手及び郵便はがき	41,860	74,500	84,098	32,262	
収入印紙	0	0	0	0	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシークーポン券	0	0	0	0	
鉄道プリペイドカード	0	0	0	0	
合 計	41,860	74,500	84,098	32,262	

イ タクシーチケットの受払状況 該当なし

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

(平成29年5月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏	所名	
行政財産	電気通信設備設置	南部町絹屋	コンクリート柱 3本	H23.2.23	H8.4.4	H28.4.1 ~H33.31	月額(年額) 540	540	鳥取市湯所町2-258 西日本電信電話(株) 鳥取支店	文書ID:15-00156210	
	電気通信設備設置	南部町絹屋	支線1条	H23.8.29	H23.9.1	H28.4.1 ~H33.31	月額(年額) 180	180	鳥取市湯所町2-258 西日本電信電話(株) 鳥取支店	文書ID:15-00156210	
	電柱支持支線設置	南部町絹屋大深田	支線1条	H25.1.18	H25.1.18	H25.1.18 ~H29.3.31	月額(年額) 1,870	1,870	米子市加茂町2-51 中国電力(株)米子営業所		
計								2,590			
普通財産	地震計設置	南部町絹屋	1.00㎡	H27.7.16	H27.7.16	H27.7.16 ~H32.3.31	月額(年額) 100	100	京都市左京区吉田本町36-1 国立大学法人京都大学		
	野鳥巣箱設置	南部町絹屋	1.00㎡	H28.6.15	H28.6.15	H28.6.15 ~H48.3.31	月額(年額) 100	100	米子市車尾4-7-29 津森方 NPO法人日本野鳥の会鳥取県支部	文書ID:16-00041210	
計								200			
合計								2,790			

イ 建物

該当なし

(2) 物品

該当なし

16 借受不動産明細調べ

該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅 該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	中小家畜試験場(西伯郡南部町北方633)	12.5	1,000
普通財産	該当なし		

イ 異動状況

(行政・普通財産)

月別	前月末	当月減		当月増		当月末		調定額	収入済額	収入未済額
		うち減免	うち減免	うち減免	うち減免					
	人	人	人	人	人	人	人	円		
4月	13			5	5	18	18	0		
5月	18					18	18	0		
6月	18			2	2	20	20	0		
7月	20			1	1	21	21	0		
8月	21					21	21	0		
9月	21					21	21	0		
10月	21					21	21	0		
11月	21					21	21	0		
12月	21	1	1			20	20	0		
1月	20			1	1	21	21	0		
2月	21					21	21	0		
3月	21	7	7			14	14	0		
合計								0	円	円

18 自動車(二輪を除く)の管理状況調べ

(平成29年5月31日現在)

車種	年式	登録番号	取得年月日	総走行 キロ数	本年度		備考
					車検年月日	修理費等	
小型四輪貨物自動車	H12	鳥取400 さ25-17	H12.7.7	92,582km	H28.6.17	車検整備費 236,837円	
						荷台床塗装 197,294円	
						6か月点検 58,255円	
						ホイール塗装 49,680円	
合計		1台		92,582		542,066円	

19 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

20 備品の処分状況調べ

(平成29年5月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管機年月日) 取得年月日	耐用年数	取得価格	不用決定 年月日	不用とする理由	処分			備考
							売却 の別	売却方法・売却理由	処分 年月日	
脂肪抽出装置	1	16.10.27	5年	1,396,500円	28.9.12	破損のため	売却	修理不能	28.09.13	0
高圧洗浄機	1	12.09.04	5	404,250	28.9.12	破損のため	売却	修理不能	28.09.13	0
分光けい光光度計	1	53.03.25	5	1,723,000	28.9.15	破損のため	売却	修理不能のため	28.09.15	0
組織維定量装置	1	58.05.16	5	222,000	28.9.15	破損のため	売却	修理不能のため	28.09.15	0
脂肪抽出装置(湯煎器)	1	59.05.25	5	179,000	28.12.16	破損のため	売却	修理不能のため	29.01.30	0
原子分光光度計	1	10.09.29	5	6,541,500	28.8.25	破損のため	売却	保守部品供給終了により修理不能	28.09.13	0
電子天びん	1	61.05.29	15	500,000	28.12.16	破損のため	売却	修理不能のため	29.02.06	0
水中ポンプ	1	12.02.07	5	59,325	28.5.13	破損のため	売却	修理不能のため	28.05.17	0

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管年月日) 取得年月日	耐用年数	取得価格	不用とする理由	処分			備考	
						売却・棄却 の別	売却方法・棄却理由	処分 年月日		売却額・ 処分費用
トットリ デー 2402	1	26.02.05	3	63,000	繁殖能力が低下したため	売却	委託販売	28.04.21	26,941	
トットリ デー 9362	1	22.05.21	3	63,000	精液性状不良のため	売却	委託販売	28.09.08	14,982	
トットリ デー 3089	1	26.02.05	3	63,000	直腸脱	棄却	亡失	28.09.08	0	
トットリ エル 1479	1	24.06.29	3	63,000	繁殖能力低下のため	売却	委託販売	28.09.21	39,891	
トットリ エル 1495	1	24.06.29	3	63,000	繁殖能力低下のため	売却	委託販売	28.09.21	36,103	
トットリ ビー 1 315	1	26.08.14	3	64,800	繁殖能力低下のため	売却	委託販売	28.09.21	25,920	
LW 4350	1	27.03.17	3	64,800	繁殖能力低下のため	売却	委託販売	28.09.27	35,898	
LW 4351	1	27.03.17	3	64,800	繁殖能力低下のため	売却	委託販売	28.09.27	42,297	
LW 4352	1	27.03.17	3	64,800	繁殖能力低下のため	売却	委託販売	28.09.27	43,863	
LW 4441	1	27.03.17	3	64,800	繁殖能力低下のため	売却	委託販売	28.09.27	40,617	
トットリ エル 2052	1	25.01.28	3	63,000	繁殖能力低下のため	売却	委託販売	28.11.17	39,273	
ウィルマ ファーリア 7 3815	1	26.11.11	3	64,800	繁殖能力低下のため	売却	委託販売	28.11.17	30,645	
LW 4445	1	27.03.17	3	64,800	繁殖能力低下のため	売却	委託販売	28.11.17	28,256	
トットリ デー 1105	1	24.01.17	3	63,000	繁殖能力低下のため	売却	委託販売	28.12.14	27,926	
トットリ ビー 1 313	1	26.07.03	3	64,800	繁殖能力低下のため	売却	委託販売	29.01.13	14,661	
トットリ エル 1539	1	24.08.24	3	63,000	繁殖能力低下のため	売却	委託販売	29.01.19	30,592	
トットリ デー 2194	1	25.06.27	3	63,000	繁殖能力低下のため	売却	委託販売	29.01.19	32,747	
トットリ デー 1443	1	24.08.24	3	63,000	繁殖能力低下のため	売却	委託販売	29.01.25	29,503	
トットリ デー 3007	1	25.10.07	3	63,000	繁殖能力低下(乗駕欲消失)のため	売却	委託販売	29.01.25	14,923	
トットリ ビー 1 314	1	26.07.03	3	64,800	敗血症	棄却	亡失	29.01.30	0	
トットリ デー 1372	1	24.06.29	3	63,000	繁殖能力低下のため	売却	委託販売	29.02.16	29,798	
トットリ エル 1492	1	24.06.29	3	63,000	肺炎	棄却	亡失	29.02.21	0	
トットリ デー 2314	1	25.06.27	3	63,000	繁殖能力低下のため	売却	委託販売	29.03.09	30,774	
合計	31			12,490,775					615,510	

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

- (1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ
(2) 物品の照合

照合年月日 平成28年6月1日 ～ 平成28年8月26日	現物確認できなかった物品 ・ 有	現物が確認できなかった物品名	個数
	・ 無		

22 職員旅費の執行状況調べ

(1) 旅行同の事前承認

旅行総件数	旅費システムで 発令日が発日 より遅い件数 ①	①のうち履歴で 事前承認が確認 できた件数 ②	①のうち②以外で 緊急等特別な理由 があった件数 ③	特別な理由もなく事前承 認がされていない件数 (①-②-③)	備 考
38	1	1	0	0	旅費の修正が必要であり、当初の申請を取消し、 再度伺ったため。

(2) 旅費概算払の精算等

ア 概算払の精算が旅行完了日の翌日から2週間以上経過しているもの(零精算を除く) …………… (1 件中 0 件)

イ 精算払が旅行完了日の翌日から30日以上経過しているもの …………… (21 件中 1 件)

(3) 旅費の計算

用 務 先	旅 行 期 間	用 務 内 容	支出金額	備 考
茨城県つくば市	2/26~2/27	第34回土・水研究会「物質循環とそれを駆動する微生物」	30,480	
広島県福山市	1/24~1/25	近畿中国四国農業試験研究推進会議畜産草地推進部会	25,500	

(4) 旅費の適正執行の取組状況等

- ・旅行申請を早期に手続きするよう注意喚起している。
- ・復命は旅行後速やかに行うよう注意喚起している。

2.3 事業別予算執行状況調べ

目 名	畜産総務費	(平成29年3月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
畜産農家環境保全指導事業	(目的) 県内畜産農家の水質及び臭気発生状況の調査 (実績) 調査件数: 水質12件 臭気13件 汚水簡易測定器具を各普及所へ配布(パックテストCOD、硝酸等簡易キット)	

目 名	農業総務費	(平成29年3月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
農林水産試験場臨時的調査研究事業	試験課題名: シロマジン製剤の経口投与によるハエ発生防止効果の検証 (目的) シロマジン製剤を経口投与による鶏舎ハエ発生防止効果を的確に把握するとともに農場の生産性への影響等を調査。 (実績) 1 4月下旬から投薬した成鶏鶏舎では1週目からハエ幼虫数は大幅な減少がみられ薬剤の効果が確認された。 2 大雛鶏舎では、投薬4週目までは減少傾向であったが7~9月にハエ幼虫数の増加がみられ、成虫数は幼虫数の推移と同様の傾向を示した。 3 農場全体の産卵率、飼料要求率は前年度と比較して差はなく、投薬の影響は認められなかった。 4 投薬によるイエバエ幼虫抑制効果は確認されたが、夏における水分の多い鶏糞については、ハエの増殖を抑制することはできなかった。 5 ハエ対策の基本として定期的な除糞を励行した上で、状況に応じて薬剤を併用するなど総合的な対策が必要と思われた。	

目 名	中小家畜試験場費	(平成29年3月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
中小家畜試験場管理運営費	施設の維持管理、非常勤職員等の管理運営を行った。	
中小家畜試験場施設整備費	中小家畜試験場の施設整備を行った。	
「鳥取地どりピヨ」の改良試験	6 主な事業に関する調べに記載 2.6 試験研究調査事業別実施状況調べに記載	

鳥取地どりピヨの遺伝資源保存技術の開発試験	26 試験研究調査事業別実施状況調べに記載
環境と調和の取れた畜産排水処理技術の改善と指導マニュアルの作成	26 試験研究調査事業別実施状況調べに記載
コンパクトで低コストな脱臭装置の開発	26 試験研究調査事業別実施状況調べに記載
鳥取県産ブランド豚品質向上試験	6 主な事業に関する調べに記載 26 試験研究調査事業別実施状況調べに記載
鳥取県産豚の美味しさ解析試験	26 試験研究調査事業別実施状況調べに記載

24 農業機械の管理状況

(平成29年5月31日現在)

品名	型式 及び 規格	取得 年月日	用途	稼動 日数 日	燃 料		修繕 費等 円	左の主な 内 容 円	備 考
					消費量 ℓ	金 額 円			
トラクター	クボタ L1-R18	S57. 6.17	除雪、堆肥 (鶏)等運搬	10	軽油 24	2,904	0	0	
	クボタ KL43BMAP	H15. 9.12	除草、除雪、 堆肥(豚)等 運搬	14	軽油 72	8,490	11,944	点検・整備 11,944	
小型ローダ	小松フォー クリフト (株)SK05	H5. 10.29	堆肥の運搬	33	軽油 59	6,951	104,290	特定自主検査 パンク修理 104,290	
ホイールロー ダー	クボタ R430Z	H21. 7.17	堆肥の運搬	192	軽油 201	23,547	45,014	特定自主検査 整備一式 45,014	
ダンパー (運搬車)	カワシマ RQ4WDDV	H7. 8.31	豚糞の運搬	95	ガソリン 65	8,138	24,602	点検・整備 24,602	
動力運搬車	カワシマ RQ4WD-DV	H7. 8.31	鶏糞の運搬	33	ガソリン 25	2,995	0	0	
	カワシマRA 4WD - D(S T)	H16. 12.20	豚糞の運搬 機材等の運 搬	164	ガソリン 103	12,762	5,724	点検・整備 5,724	
	(有)河島農 具製作所 RX4WD	H24. 9.13	豚糞の運搬 機材等の運 搬	68	ガソリン 24	2,836	5,724	点検・整備 5,724	
	(有)河島農 具製作所 RX4WD	H26. 9.24	機材等の運 搬	105	ガソリン 58	7,054	0	0	
自走式草刈機	オーレック クローラハ ンマーナイ フローター HRC802B	H23. 6.29	除草	21	ガソリン 83	9,984	2,160	オイル交換 2,160	
バッテリー式 運搬車	藤樹運搬機 工(株) EY8-37G	H22 7.30	飼料の運搬	105	0	0	0	0	
計					ガソリン 358 軽油 356	ガソリン 43,769 軽油 41,892	199,458	199,458	

2.5 生産物（品）に関する調べ

(平成29年5月31日現在)

生産部門	品名種類	作付面積	生産計画数量	生産数量			場内使用	処分数量				分類	差引	備考	
				計	生産購入	計		売却数量	売却金額	目的外使用					廃棄数量
										数量	金額				
養鶏	成鶏		羽 652	羽 購入112	羽 764	羽 0	羽 0	円 0	羽 782	円 0	羽 564	羽 546	分類換は育成鶏から		
			羽 398	羽 20,700 生産20,462 購入 238	羽 21,098	羽 152	円 1,009,638	羽 0	円 0	羽 11,344 へい死34 淘汰11,310	円 1,009,638	羽 352	分類換は成		
	種卵	個 4,655	個 37,253	個 41,908	個 20,462	個 0	円 0	個 0	円 0	個 37,302	個 0	個 4,606			
小計	-	-	-	-	-	-	円 1,009,638	-	-	-	円 1,009,638	-	-		
養豚	精液		本 4,000	本 6,032	本 6,107	本 535	円 1,455,840	本 0	円 0	本 4,068	本 0	本 156			
	生産品		頭 1,280	頭 1,096	頭 1,354	頭 959	円 13,303,271	頭 0	円 0	頭 へい死等 128	頭 18	頭 249	分類換は動物へ		
小計	-	-	-	-	-	-	円 14,759,111	-	-	-	円 14,759,111	-	-		
合計	-	-	-	-	-	-	円 15,768,749	-	-	-	円 15,768,749	-	-		

事業名	「鳥取地どりピヨ」の改良試験		担当室別	環境・養鶏研究室
実施計画期間	—		(予算額)	(8,981千円)
			支出済額	8,871千円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
Ⅰ「鳥取地どりピヨ」の性別体重格差改善を目指した種鶏改良 (平成28-32)	中小家畜試験場	12世代鶏 311羽	「鳥取地どりピヨ」は流通業者や飲食店で雌が好ましいという声があり、生産者からは雌の出荷体重の増加に対する要望がある。そこで、ピヨの雌の増体量向上を目指したGSRの改良を行う。	(成果) 6 主な事業に関する調べに記載
				(課題) 6 主な事業に関する調べに記載
Ⅱ「鳥取地どりピヨ」の旨み(アラキドン酸)向上試験 (平成23-28)	中小家畜試験場	ブローター 30羽	脂肪酸の一種であるアラキドン酸は、鶏肉の新たな旨み関連物質として知られている。そこで、育種等により筋肉中のアラキドン酸を制御し、地どり肉のさらなる差別化を図るために、旨み開発を行うことを目的とする。	(成果) 6 主な事業に関する調べに記載
		ピヨ 100羽		(課題) 6 主な事業に関する調べに記載
Ⅲ「鳥取地どりピヨ」のヒナ生産試験 (平成21-)	中小家畜試験場	種鶏(母鶏) ・H27.4導入 208羽 ・H28.4導入 208羽 等	ヒナ供給目標: 年間 12,150羽	(成果) 6 主な事業に関する調べに記載
				(課題) 6 主な事業に関する調べに記載

事業名	鳥取地どりピヨの遺伝資源保存技術の開発		担当室別	環境・養鶏研究室
実施計画期間	25年度 ～28年度		(予算額) 支出済額	(648千円) 575千円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
伝染病発生等の危機管理対策として、地どり精液凍結保存技術の開発を行い、地どり遺伝資源保存技術の確立を目指す。	中小家畜試験場	交雑種鶏 (GSR) 100羽	1. 各種耐凍剤が受精に与える影響を調査する。 2. 精液の深部注入が受精に与える影響を調査する。	<p>(成果)</p> <p>1) 各種耐凍剤が受精に与える影響 これまで使用している耐凍剤と2種類の耐凍剤の受精に与える影響を比較検討した。</p> <p>メチルアセトアミド・・・ 受精率67.0%、孵化率60.5%</p> <p>ジメチルスルホキシド・・・ 受精率49.4%、孵化率31.2%</p> <p>エチレングリコール(8%)・・・ 受精率 5.4%、孵化率 2.9%</p> <p>エチレングリコール(12%)・・・ 受精率 7.7%、孵化率 3.8%</p> <p>2) 精液の深部注入が受精に与える影響 授精機器を改良し、これまでの挿入長4cmと改良した挿入長8cmの授精機器を用い受精に与える影響を比較検討した。</p> <p>4cm区・・・受精率56.1%、孵化率45.9%</p> <p>8cm区・・・受精率66.4%、孵化率48.8%</p> <p>(課題)</p> <p>4年間の開発試験の結果、遺伝資源保存技術の実用化に目途が立った。来年度以降は万一の際に使用する凍結精液の貯蔵を主眼に置いた確立試験を実施していく。</p>

事業名	環境と調和の取れた畜産排水処理技術の改善と指導マニュアルの作成		担当室別	環境・養鶏研究室
実施計画期間	26年度 ～29年度		(予算額) 支出済額	(760,000円) 681,860円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
(単) 畜産経営から排出される汚水が排水基準を満たすような処理の適正化のための技術検討。指導者向けに、現場測定マニュアルを作成。	中小家畜試験場 現地調査		①硝酸性窒素等の排出基準引下げに対応した窒素除去率の向上試験では中古FRPサイロを活用した連続式活性汚泥法による酪農家パーラー排水処理施設での小規模な改修を行い、水質の推移及び運転状況を現地実証した。 ②新技術導入開発試験では、曝気条件で硝化及び脱窒の可能性を比較するため、20℃及び5℃条件下で素材2種（発泡ガラス、合成ゼオライト）による無機窒素等の変化を調査した。	(成果) 硝酸性窒素等の排出基準引下げに対応した窒素除去率の向上試験ではスカムスキマーと小型計量槽を組み合わせることにより、汚泥の流亡（浮遊物質やBOD等）の低減が可能であった。 新技術導入開発試験では多孔質素材2種（発泡ガラス及び合成ゼオライト）を20℃条件下で4時間曝気すると無機態窒素を除去する効果があり、合成ゼオライトは5℃条件下でも無機態窒素を低減する。 (課題) ・硝酸性窒素等の排出基準引下げに対応した窒素除去率の向上試験では改善事例を現地実証。 ・新技術導入開発試験では資材の効果的な利用方法の解明。

事業名	コンパクトで低コストな脱臭装置の開発		担当室別	環境・養鶏研究室
実施計画期間	28年度 ～32年度		(予算額)	(679,000円)
			支出済額	648,946円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
(単) ガラス発泡材脱臭装置と他の脱臭法を組み合わせるような、コンパクトで低コストな装置の開発について、県内企業協力のもと取り組む。	中小家畜試験場		①酸添着によるアンモニアの除去試験では、もみ殻と、クエン酸を用いて脱臭性能試験を実施した。実験室内で液化標準ガス発生装置を使用し、容器（内径の直径32mm高さ40mm）に一定濃度のアンモニアを通気させ（18.3ppm設定0.3l/min）もみ殻のみ、水のみ、もみ殻+水、籾殻+0.1%クエン酸においてアンモニア除去率の変化を調査した。 ②ガラス発泡剤の粒径の違いによるアンモニア除去効果について、最適なガラス発泡材の粒径別の検討を行った。	(成果) 酸添着によるアンモニアの除去試験では、もみ殻に0.1%クエン酸を添着することにより、高いアンモニア除去率を維持できた。 ガラス発泡材の粒径1～2mm、3～10mm、10～25mmの粒径別の比較試験を行った。水に1時間漬浸後の水分率は粒径が細かいほど水分率が高く、脱臭性能試験では1～2mm、3～10mmが高いアンモニア除去率を維持した。 (課題) ・クエン酸添着モミガラとガラス発泡材を組み合わせた脱臭装置の性能測定。 ・ガラス発泡材脱臭装置の性能に関わる各種項目の検討。

事業名	鳥取県産ブランド豚品質向上試験		担当室別	養豚研究室
実施計画期間	26年度 ～28年度		(予算額) 支出済額	(10,715,000円) 10,316,458円
試験研究 調査の目的	試験研究調 査を行う場 所	試験研究 調 査 の 対 象 ・ 数 量 ・ 範 囲	本年度の試験研究 調 査 等 の 目 標	試験研究調査の成果・課題
(単) 1. ブランド豚の 特徴を具体的に説 明し、差別化を図 る。 2. ブランド価値 の向上を図る。 3. 大山ルビーの 肉質及び枝肉形質 の安定化を図る。	中小家畜試 験場	肥育試験 豚 48頭	1. 鳥取県産ブランド豚「大 山ルビー」への鳥取県産高 オレイン酸含有ひまわりの 搾油粕およびひまわり種子 添加試験を行い、ブランド 力向上を目指す。	(成果) 6 主な事業に関する調べに記載
		パークシ ャー種 雄 13頭	2. パークシャー種雄の直 接検定試験を実施し、パー クシャー種雄の譲渡体制を 整える。	(課題) 6 主な事業に関する調べに記載

事業名	鳥取県産豚の美味しさ解析試験		担当室別	養豚研究室
実施計画期間	27年度 ～28年度		(予算額)	(17,609,000円)
			支出済額	17,121,148円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
<p>(単)</p> <p>1. 鳥取県産豚と「大山赤ぶた」の肥育試験を行い、肉質分析等を調査して美味しさを明確にする。</p> <p>2. 農家実証試験で、鳥取県産豚の美味しさを確認する。</p> <p>3. 県内養豚農家が希望する品種の精液、繁殖候補豚を供給する。</p>	<p>中小家畜試験場</p>	LWD種の肉豚44頭	<p>・系統豚「大山赤ぶた」由来のLWD種（以下鳥取県産豚）と県外デュロック種由来のLWD種との繁殖性、産肉性および肉の美味しさと機能性を解析し、鳥取県産豚の優位性を調査する。</p>	<p>(成果)</p> <p>・系統豚「大山赤ぶた」由来のLWDを9腹、36頭と県外由来のLWDを2腹、8頭の肥育試験および41頭の枝肉調査（と体長、脂肪厚等）、肉質分析（水分、保水力等）を調査した結果、繁殖性、産肉性は県外豚に比べ鳥取県産豚が優位であった。</p> <p>・合計20腹、77頭の肥育試験および37頭の枝肉調査、肉質分析を行った結果、肉質の最重要形質である筋肉内脂肪含量（いわゆる「サシ」）が特に高い家系があった。しかし、筋肉内脂肪含量は、離乳体重と負の相関があることが知られていることから、離乳体重で補正したところ、家系間に大きな差は無く、斉一性のある系統であると考えられた。</p> <p>・他品種肉質比較試験では、D種の肉質特徴は、筋肉内脂肪含量が高く、水分とドリップロスが少ないこと、オレイン酸、ステアリン酸を多く含むことが判明した。また、B種がD種と肉質に差がある項目が多く、対極にある品種の交配種であるDBについて、アピールポイントを提示するには至らなかった。</p> <p>味覚センサー分析では、他の品種はDを標準とすると、苦味雑味、旨味数値が低いことが判明し、すっきりした味わいの豚肉であると推察された。</p> <p>・H28年度、県内養豚農家へ精液は1,133本、繁殖候補豚は20頭（雄14、雌6）供給している。</p> <p>(課題)</p> <p>・種雄豚（デュロック種）について、肉の美味しさだけでなく、繁殖性強化等の経済性を加味した総合的な評価・検討が必要である。</p> <p>・種雄豚の影響を解析する統計的手法を検討する。</p> <p>・県内養豚農家の種豚等のニーズを事前把握し、計画的に供給できる体制作りに取り組む。</p>
		D種の肉豚77頭	<p>・「大山赤ぶた」の肥育試験を実施し、肉質分析等を行い、種雄豚で調査項目に差があるか解析する。また、その他品種と美味しさ特性を調査する。</p>	
		B種の肉豚11頭 DB種の肉豚22頭	<p>・県内養豚農家の要望する品種の精液を年間800本及び繁殖候補豚を15頭供給する。</p>	

○ 意見、要望等

- (1) 業務に関する意見・要望等 特になし
- (2) 監査委員事務局に対する要望等 特になし